

令和7年度福島県優良建設工事概要

部門	工事写真	工事名・地区名／工事場所／工事概要／会社名
水路		防災ダム0601工事 大笹生3期地区 福島市大笹生地内 放水路補強工 L=10.2m 放水路補修工 一式 佐藤工業株式会社 本工事は、老朽化した大笹生ダム放水路を補修する工事である。 施工箇所は急峻、狭隘な進入路で施工が冬季の非洪水期に限られることから資器材の運搬・品質管理が難しく、加えてダム貯水量調整のための放流作業との調整が必要であるなど、厳しい作業条件であったが、綿密な関係者との調整、施工計画の立案により、遅滞なく工事を完了している。 既設構造物の精密な測量を行い補修器材の製作・組立精度向上及び施工厚の綿密な管理により、均一かつ平滑な通水面を仕上げた。また、冬季で厳しい温度管理が求められたが、仮囲いの工夫等により充填材・被覆材の養生温度を一定に保つ対策などきめ細かい養生管理により、ひび割れのない極めて優れた品質・出来ばえを確保している。 さらに、電気設備の配線を吊上げることによる通路の安全確保、洗浄汚濁水の処理による環境負荷低減、日本大学工学部のインターンシップ受入、降雪の際には地域の守り手として現場事務所周辺の通学路の除雪を行い児童の安全確保に貢献している。 以上のように、出来型や品質管理に優れた点が見出され、地域へも配慮するなど工事全体について優秀である。
ほ場整備		経営体育成基盤整備0601工事 三穂田中部地区 郡山市三穂田町八幡地内 区画整理工 A=6.8ha 三栄建設株式会社 本工事は、生産基盤である農地を大区画化、汎用化するほ場整備工事である。 施工箇所は、施工区域が点在しており、かつ施工区域内の市道が通学路となっていることから、施工中の安全確保が求められた。また、地形の高低差が非常に大きく、切土、盛土の綿密な計画を立てる必要がある非常に作業条件が厳しい工事であった。 そのため、工事着手前に小学校と協議を行い危険予知マップを作成し、学校と現場内で共有するとともに、登下校時間帯を避けて重機や、資材の搬入を行うなどの安全対策を実施した。 また、基盤の切盛土や表土整地等の出来形の精度を確保するため、3次元設計データを作成し、自動制御型ブルドーザーで施工するとともに、ドローンを用いて均平度の施工管理を実施するなど、高低差が大きい地域における工事であったが、きわめて優秀な出来ばえとなっている。 さらに、工事期間中は、施工区域周辺の清掃を実施するとともに、小学生の自由研究のため資料提供や工事説明を行うなど、建設業の社会的重要性の理解醸成を図った。 以上のように、出来型や品質管理に優れた点が見出され、地域へも配慮するなど、ほ場整備工事全体について優秀である。
ほ場整備		農地中間管理機構関連0601工事 神谷地区 いわき市平上片寄地内 区画整理工 A=7.4ha 山木工業株式会社 本工事は、効率的かつ安定的な営農が可能となるよう、農地中間管理機構が借入れた農地で行うほ場整備工事である。 施工箇所は、河川や山林に囲まれ非常に湧水が多く、軟弱な地盤であることから、非常に作業難易度の高い工事であった。 そのため、基盤造成時に湧水が確認されると、速やかに仮掘施工により泥濘化を防止しつつ、湧水処理工法や盛土工法などの確な対策工法により工事の進捗を図るとともに、盛土材の確保にあたっては、近傍河川の浚渫土運搬と整地作業の工程調整を行い工事を完成させた。 また、表土整地にレーザーブルドーザーを使用するとともに、表土の掻き乱しを防ぐためにブルドーザーへ丸太を取り付けて作業を行っており、最新技術と現場の経験を合わせることで、軟弱地盤において出来形の精度を確保し、極めて優秀な出来ばえとなっている。 さらに、小・中学生を対象にした「ふくしまの農村学びの場 現場見学会」において施工機械の試乗体験を行うなど、農村整備事業や建設業の重要性について理解を深めている。 以上のように、品質管理や現場条件への適切な対応など優れた点が見出され、ほ場整備工事全体について優秀である。

令和7年度福島県優良建設工事概要

部門	工事写真	工事名・地区名／工事場所／工事概要／会社名
ため池		復興基盤総合整備ため池0601工事 金ヶ森地区 双葉郡浪江町大字棚塩地内 ため池取水施設工 一式 横山建設株式会社（受注者：横山・栗林特定建設工事共同企業体） 本工事は、防災重点農業用ため池の取水施設整備工事である。 施工箇所は、営農に支障を生じさせないため、秋から翌春の作付けまでに工事を完成させる必要があり、工期短縮のため、斜樋をコンクリート製品にしたり、先を見越して工程調整を行うなどにより、工期内に余裕を持って工事を完成させた。 また堤体盛土を現場発生土利用で、かつ異なる土質が数種類存在したため、土質毎に土質試験、試験施工を実施し、最適な盛土撒き出し厚と締固め回数を決定するなど、きめ細かな施工で施工の品質とため池の安全性を確保するとともに、水替ポンプの外側に泥水受け箱を設置し、下流環境に配慮している。 さらに、実際の事故体験をもとに安全意識の重要性を再確認できる工事現場事故体験VRシステムを導入し、独自の安全管理の徹底を図り事故を未然に防止した。 以上のように、工程管理や品質管理において秀逸であるとともに、工事全体の出来型や出来栄についても優秀である。
治山		治山施設（県営）0601工事 上関場地区 伊達郡川俣町小綱木地内 流路工 L=37.8m 株式会社本多組 本工事は、荒廃した溪流の浸食防止や保安林の機能回復を図るための治山工事である。 施工箇所は、国道114号から民家・工場に近接して仮設道路を新設し、工事を実施するため、安全確保が求められる工事であった。 現場では転石が多数発生したが、小割し沈床工で洗掘防止を図るなど転石処理と環境対策を合わせて行った。 また、既設の治山ダム下流の垂直壁等の横工3基、受口工2基、護岸工2基の構造物では、型枠の浮き防止対策に貯水タンクを設置して渓流水を活用したり、コンクリート打設回数を8回に抑え工期短縮を図ったりしており、出来栄も曲線部が地形に馴染み美観に優れている。 さらに、事前に沈砂池を設置し現場の保全に留意していたため、令和6年8月の台風5号及び7号に伴う豪雨において下流への土砂等の流出を防いでいる。 以上のように、現場条件を踏まえた創意工夫を行い、出来型や出来栄が優秀である。
治山		治山施設（県営）0601工事 水沼地区 石川郡古殿町大字松川字水沼地内 山腹工 A=0.03ha ロープネット工 A=500.0㎡ 株式会社花喜 本工事は、崩壊した森林の復旧や崩壊防止のために山腹斜面の安定を図る治山工事である。 施工箇所は、県道に隣接した山腹斜面の落石防止対策を実施するもので、落石や倒木の危険性がある極めて作業難易度の高い現場条件であった。 作業着手前に現地踏査を綿密に行い、安定した岩盤や地盤へアンカーの位置を割り付け、独自に色分けした検尺棒を用いたアンカー設置の表土厚及び削孔長の確認を工夫したほか、独自の削孔角度の管理定規を用いた工夫を行うなどきめ細かな施工を行っている。 斜面に巨石が点在する中で、的確にワイヤーの割り付けを行い、安定的に落石防止を図り、傾倒木を適切に処理し美観にも優れている。 さらに、施工区域周辺の清掃や、現場事務所にハザードマップを掲示し、通勤等の現場外での災害発生時に作業員が安全に避難できるよう危険箇所を周知したり、スズメバチ対策としてハチ捕獲器を設置し作業員の安全対策を図った。 以上のように、現場条件を踏まえた創意工夫を行い、工程管理や出来型が優秀である。

令和7年度 福島県優良建設工事概要

部門	工事写真	工事名・地区名／工事場所／工事概要／会社名
林道		山のみち地域づくり交付金0401工事 新鶴・柳津線 大沼郡会津美里町蛇喰地内 道路工（新設） L=229.0m W=4.0（5.0）m 株式会社共立土建 本工事は、森林地域の骨格となる林道を整備する工事である。 施工箇所は急峻な地形かつ土質が脆弱なため、降雨により切土法面上部が洗堀され、土砂撤去や仮設防護柵の設置が必要となる厳しい作業条件であった。また、希少猛禽類保護のため、段階的に工事時間や日数を増やす対策（コンデショニング）を行う必要があった。 そのため、現地測量や土工事の施工に関しては、自動追尾トータルステーションを活用し、測量作業の軽減とナビゲーション付バックホウによる切土や構造物床掘の作業を行い作業効率の向上を図った。 また、補強土壁の施工に当たっては、メーカー技術者から直接作業手順や補強材の張り具合等の細かな現場指導を受けるとともに、補強土壁埋戻土内部へ水が浸透しないよう現地の地形に合わせた暗渠排水対策を行っている。 さらに、熊の出没を監視するセンサー付きのカメラを設置し、作業員の安全対策や、施工箇所に至る林道の除草作業、地元高校生のインターンシップを受け入れている。 以上のように、工程管理や品質管理において秀逸であるとともに、工事全体の出来型や出来栄についても優秀である。
特殊構造物		かんがい排水（一般）0501工事 吉ヶ平1期地区 会津若松市湊町大字赤井地内 水路トンネル工 L=187.5m 会津土建株式会社 本工事は、農業排水路の水路トンネル（L=187.5m）を新たに整備するトンネル掘削工事である。 施工箇所は、最小断面のNATM工法であるため作業スペースが狭小であることから、覆工コンクリート打設時は十分な締固めが期待できる高周波バイブレーターの使用、防水シート破損防止のためにロックボルトカバーの設置や防水シート貫通による品質低下防止のための非貫通型鉄筋金具の使用など、きめ細かい施工をしている。 また、鉄筋継手をネジ継手にすることでセントル（覆工型枠）の移動を継手長さに関係なく自由に移動できるようにし、作業の効率化を図るとともに、安全確保のため情報機器を設置し、坑内への情報伝達を速やかに行った。 さらに、地域住民へ月1回の「工事ニュース」を配布し、工事に対する地域住民の理解醸成に努めている。 以上のように、本工事の目的であるトンネル掘削工事として十分な施工完成度を確保しているとともに、工事にあたっての創意工夫、出来形や出来栄についても優秀である。